

## 【第1回摂津食育推進計画策定委員会議事録】

開催日：平成20年6月20日

場所：市役所第1会議室

### (事務局) 挨拶

第1回摂津食育推進計画策定委員会を開催いたします。委員長が後ほど決まるまで代行させていただきます議事を進行いたします。

### (市長) 挨拶

日頃皆様方には、市政の運営にご協力ありがとうございます。

最近何から話をしたらいいか分からない程である。燃料の問題、命など基本中の基本であることが、日本ではおろそかになっている。その副作用である節約、感謝の気持ちが湧いてこない質、量、教育、食育を各方面の方々で見直し摂津市の人間基礎教育の思いやり、奉仕、感謝、挨拶、それぞれを、食を通して立場、立場で人間基礎教育を生かしていただきたい。

#### 委嘱状交付

市長より代表 京都府立大学大学院教授 大谷貴美子氏

他は机上に置く 各委員の自己紹介

河野委員 専門消化器内科

木下委員 ひまわり保育園長

国里委員 在宅栄養士会長

田橋委員 農業委員会事務局長

森委員 とりかい幼稚園園長

福元委員 (代理) 由本委員 (千里丘小学校教頭)

岡本委員 茨木保健所企画補佐

平岡委員 摂津市教育総務部理事

福永委員 摂津市保健福祉部理事

### (事務局) 資料の確認と訂正

p.1～p.6 食育基本法

p.7～p.8 資料2 設置要綱

p.9～p.13 資料3 アンケート

p.14～p.16 資料4 取組状況

p.17～p.18 資料5 食育推進計画の骨子案

p.18 アラビア数字の番号訂正

基本法の第2章計画は、努力義務である。

第3章基本施策の理論的なことが書かれているので審議をお願いする。

第4章33条本市では、条例化しない独自で行政の方で食育推進計画を策定する。

設置要綱の説明

第1条位置づけ

第2条～6条本委員会の役割と運営

第7条庁内の関係各課の幹事会

第 8 条は行政の実務担当者会議栄養職員の専門部会  
そのメンバー表は p. 19 に添付している。

**(事務局)** 委員長及び副委員長の選出

事務局一任

委員長に京都府立大学大学院教授 大谷貴美子女史、副委員長福元  
委員で承認

**(委員長)** 挨拶

京都は食育が進んでいる。今日も子どもたちと田植をやってきた。  
でも今は、食育のブームより英語教育の方が盛んである。今茨木、  
高槻、摂津で食育が盛んで温度差がある、温度差のあるのが問題で  
続けてほしい。摂津との関わりは、別府小学校の研究や研究室を出  
た者が、摂津市に就職をさせていただいているので、関わりがある。

みなさんより先んじてやってきたことが、役に立てるように協力  
していきたい。

**(事務局)** 案件

実態調査説明

摂津健康推進課 アンケートの説明

①目的

食育に対する市民の意識を把握し、今後の食育推進基本計画策定  
の参考にする。

②調査項目

食育に関する、意識等について、食育における関心度について、  
野菜の摂取量の現状と必要量の確認について、食の安全安心につ  
いての意識、家庭における食育の実践等について、メタボリック  
シンドロームの認知度、歯の健康などをアンケート内容にしてい  
る。

③方法

乳幼児健診の案内文に同封し乳幼児健診の受け付けで回収をする。  
公立幼稚園で配布し、同封の封筒に入れて封をして回収をする。

④人数

せつつ幼稚園 174 人・べふ幼稚園 56 人・とりかい幼稚園 96 人・1  
歳 6 か月検診 129 人・3 歳 6 か月検診 154 人予定人数は 609 人でそ  
の倍をとりたい。

資料 4 については、幹事、専門部会の協力で平成 18 年から 19 年  
の食育取組状況を記入していただいた。

**(委員長)** アンケートの目的を知りたい。親の食事か子どもかはっきり知り  
たい。若い世代 20 代、30 代の意識を知りたいのなら、関わりも大切  
である。それを引き出すことも有意義である。

**(委員)** 朝食は誰が作っているのか？和食か、洋食か、細かいアンケート  
をする。

(委員長) 小学生では、親との関係を逃げていることもある。

(委員) 私のところのアンケートは、そういうことの内容も書いている。

(委員) 問い方が違ってくるので、どの質問が、すべての人や、家族なのか対象を絞った方が良い。反映されているデータが曖昧である。

(事務局) 質問の入り方の説明、誤解される文章は削除する。

(委員) 大人か、子供かはっきりしないので、もう少しはっきりさせる。

(委員) 「貴女は」の間を目立つようにする。

(委員) 問毎に「貴女は」、「お子様は」とつければ良い。

(事務局) 食事バランスガイドの認知度をどうすれば良いか。

(委員長) 国の方でも難しいので、どのようにすれば良いかと迷っている。一汁三菜の方が分かりやすい。調べることの意義はないのでいらな  
いと思う。それより幼稚園、保育園の日々こういったことをきいて  
ほしいということを入れる。おやつ  
の状況や、外食、スナック菓子  
等アンケートを通して調査をする。若い方はもう一度妊娠する可能性もある。現状を把握するのは良いが、これをどのように進めていくのかも考える。歯科検診も書いてあるがどのように進めるかを考える。茨木市も野菜の質問があったが食卓に出てこなかったというエピソードもある。忌憚のない意見を言ってほしい。

(委員) 職業であるが、アンケートを答えていただいている方の職業か、世帯主かをはっきり書く。

(委員) この年齢の小さな子どもの世帯はいろいろな家庭の事情がある。そこでだれと食べているのか？を知りたい。わかると一人で食べているのか？家族と食べているのか？いろいろ参考になる。

(委員長) 目的がもうひとつ解らない。幼稚園、保育園の親の意識か子どもがどうか目的をはっきりさせる。地域を問うことが多いが、若い世代にせつかくとるので親との関わりをききたい。朝、親が朝食を作っているか？和食か洋食かのアンケートで聞く。今手作りが難しい時代でありこころの発達に大きく影響する。親自身も子どもと関わりたくない  
と逃げています。親も面倒くさいと思っているのでこんなこともききたい。

対象が幼年  
年齢でおさまってしまうのはどうかと思う。栄養の問題として1.6か月、3.6か月に入っている  
ので問17が問題である。こういう食卓が理想であっても親御さんが関わりのある質問があれば良い。

(委員) お米は食べますか？それはどこから買っていますか？野菜をどこで買っていますか？をきいてほしい。値段が高くても買っているかどうかをきくか？

(委員) 私のところでは、野菜を作っているので多くは食べられる。無農薬で作っている。食事バランスガイドもたくさん食べてほしいとイメージをつかむのは良いが、理解を求めるのは、難しい。

(委員長) 食育の言葉は学校の先生でも知らない人が多い。いらないところは削除して新しい質問を挿入し何を導きたいかが大切である。

(委員) 食の考え方の若い方の意識をほりさげればどうか？

(委員長) 計画をしたら次の一年を到達するために推進計画をするのなら、知っていたからどうのしろというよりももっと家族や子供中心に考え市民に対して推進活動をした方がどうせするならそうした方が良い。課題を絞った方が良い。

(委員) 摂津市の食育が生涯にわたる食生活、自分で食べ物を主体的に選んできっちり見分けられるぐらいの力、男の人でもメタボリックの注意を含めて、主体がとれるかどうか摂津市としてどこまで踏み込んでやっていけるか？根本的なことをどうするのか？

(委員長) アンケートの内容を絞って対象者を絞ってどういう問題を引き出していくかを考えアンケートをひきだしていく。事務局で再考をして紙面でまた報告をする。委員長と連絡して作成する。

(事務局) 次に骨子案について食育推進計画の目次にあたるところであり事前に手配をしておくべきであるところ当日になり事務局の不手際であり申し訳ない。

事務局としては実行性が大切である。世代もどの世代をターゲットにするか人間形成の大切な就学前を重点的にしていきたい。5箇年計画でやっていきたい。2009年から2013年としていきたい。

(事務局) 摂津市の食を知る。農業の現状、産業の現状を知る。鳥飼なすを中心に小学校を中心に取り組んでいる内容、実施状況としては、資料に添付されているところである。食中毒の状況、野菜の摂取量はアンケートの内容にもある。

保育所、幼稚園、小学校も個別関係機関を言及する。

取り込み目標は、それぞれ分野別にまとめていきたい。

最後に資料の関連法規が添付されている。

(委員) メタボリック症候群は知っているから偉いのでなく、肥満を知ることが大切である。

(委員長) 摂津市の食育推進は、全部の年代が入る。そうなってくると高齢

者の入れ歯の問題なども面白い。

(委員長) 集団給食とか健康展で講演しているが、根本的に日本人のライフスタイルを変える。昼はサッサと食べて、夜はいっぱい食べる。海外のように昼は食事をゆっくり食べて運動をする。夜は少なくする。京都市の市長もこのようにライフスタイルを変えているがどうか？そこまで摂津市はされるのか？どこをどのように変えられるのか？

(委員) 若い人たちの焼肉嗜好は肥満が多く、がんの発症が多いこれらをどうしていくか？食事も欧米化している。日本型食事にするように推進をしてほしい。

(委員長) 子どもに魚の絵を描かせると、頭が右側で、野菜を描かせると、サラダしか描かない。食べたメニューはファーストフードしかない。かろうじて和食を描いても回転寿司である。

(事務局) 計画の骨子は項目を表しているが、摂津市の現状の分析をどのように推進計画として盛り込んでいくのか？

(委員) 摂津市の農業は、昔兼業農業であったが、今は自家自消である。このことについてどうこうふれても現状を記述するだけである。

(事務局) 現状を書くだけである。

(委員) 摂津市は農業振興地域ではない。1か所だけ八町は調整地域である。買った方が安くなる。朝市を出しているのは4軒だけである。

(委員長) 推進計画を策定するのであるのでしょうか？

(委員) 農業祭はそれに合わせて農業振興団体がやっているだけである。

(委員長) 鳥飼なすを守っていくのは難しいですか？

(委員) 難しい。団体に世話をするのでおいしいものが出るが大変である。

(委員長) 教育ファームなんかはないか？田植えの体験はある。

(委員) 学校教育で視察に行くが、食教育の推進は難しい。福井県は学校給食で米を作って食べさせている。

(委員) 全国で生産は39パーセントであり大阪は2パーセント、摂津市はそれ以下である。

(委員) 市民から見て役に立つ内容にした方が良い。

(委員長) 推進計画だからどうするか？

食育は、調理員さんの立場がないのでやりたい。何か伝えていた  
だきたい。小学校の家庭科の中にも入り込んでいくことも良いので  
はないか？小学校には家庭科の専任がないのでマンパワーで作っ  
ていく。

小浜市では3年生までに魚の3枚おろしを習得させている。

17の項目のヘルシーメニューのお店はどうですか？

(事務局) 大阪府の推進事業で大阪は野菜の摂取量が少ないので少しでも外  
食メニューの中に野菜の摂取量の多い店を応援していくことです。

(委員) 摂津市は少ししかない。

(事務局) 朝食の欠食に問題がある。

(委員長) サラダは量が少ない。具体的な到達目標はどうするのか？いらな  
いのか？

(委員) お米を食べるようしたら良い。副食は野菜が多くなる。お米を食  
べている状況を報告すれば、お母さんの手づくりはどうか？

(委員) 朝食に何を食べているかの内容をきいてほしい。

(委員長) 推進計画をどのようにしていられるか？まだ先ですね。進捗状況  
を踏まえて考える。

(事務局) 最後のスケジュール表ですが、来年の3月までの計画で推し進め  
る。かなりタイトである。10月末審議のあったアンケートは事務局  
で再考をしてアンケートの結果とまとめを専門部会の資料として提  
出させていただく。10月に素案の素案を提出したい。ただアンケー  
トは時間的なずれがあることを含んでいただきたい。